

早春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。コミュニケーション活動の一環として会員各位の相互理解をより一層深める一方策として、平成26年度から企業訪問を開始しております。企業訪問を通じて、会員相互の理解活動に少しでも貢献できればと思います。今回は2月中旬に大成建設さんを訪問しました。皆さんが廃炉に向け現場作業に取り組まれている状況を報告いたします。



寺本総合所長から一言
当作業所は土木工事を担当しております。「全ての災害は防ぐことができる」という信念を持って、全員参加による安全衛生管理を続けてまいります。

大成建設株式会社 東北支店
東電福一関連・止水工事作業所



福一の安定化・廃炉作業に向けた取り組み状況

フランジ型タンクの解体工事



フランジ型タンクから溶接型タンクへ、汚染水を貯蔵するタンクを交換する為、フランジ型タンクの解体工事を行っています。

タンク基礎除染工事



フランジ型タンクの基礎として使用していたコンクリートの表面を削って除染を行っています。

タンク基礎工事



汚染水タンクを支える基礎の工事を行っています。



熱中症対策として、酷暑の期間中は、夜間作業を行い、リスクの低減を図っています。

南側護岸復旧工事



高波で侵食された南側エリア護岸の復旧工事を行っています。

4m盤エリアフェーシング工事



降雨が地中に染み込み、新たな地下水(汚染水)となって海へ流れ込むことがないように、フェーシング工事を行っています。

コミュニケーション活動(安全大会)



毎年7月に楢葉町のヤードで安全大会を実施しています。



協議会訪問



大成建設さんを訪問した時のスナップ写真です。寺本総合所長、幹事の島崎さんより現場作業への取り組みについて写真を見ながらご説明をいただきました。フランジタンクの撤去、新しいタンクの基礎工事をはじめ、護岸の復旧作業など廃炉作業に多方面から貢献されている様子をお聞きすることができました。

また、安全については『まず確認』を会社のスローガンとして、各種安全活動に取り組まれているとのことでした。訪問した事務所は広野駅の近くにあります。こちらは土木関係の事務所となり、建築関係はいわき事務所に分かれているとのこと。お忙しいところ、ご対応いただきありがとうございました。

次回予告

次回(第13回)の企業訪問は、訪問先を調整中です。

編集後記

今回は、大成建設さんを訪問しました。発刊に当たり、幹事の島崎さんには大変お世話になりました。大成建設さんは、震災後から1Fの廃炉作業に携わってこられ、多種多様な復旧作業に対応されてきました。ありがとうございます。企業協議会では少しでも皆様のお役に立てるように頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。

発行責任者：事務局長 坂本 浩美
TEL：0240-25-2697
FAX：0240-25-5465